



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



### 2020～2021 年度主題

国際会長	Jacob Kristensen (Denmark)	「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア地域会長	David Lua (Singapore)	「変化をもたらそう」
東日本区 理事	板村 哲也 (東京武蔵野多摩)	「変化をたのしもう！」
北 東 部 部長	南澤 一右 (仙台青葉城)	「変化を楽しみながら新東北東部を創ろう！」
会津クラブ会長	青山 孝男	「変わらずに歩んで、がんばっぺ！」

<No.300 会津通信>  
2020年10月13日発行

会 長	青山孝男
副会長	高橋真美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

### ◇10月の聖句◇

「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、私は言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

マタイ福音書5章 42～43節

### 10月例会

日時:2020年10月13日(火)19:00～21:00

場所:若松栄町教会

司会:高橋 真人 メン

- |          |         |
|----------|---------|
| 1.開会点鐘   | 会 長     |
| 2.ワイズソング | 一 同     |
| 3.会長挨拶   | 会 長     |
| 4.連絡報告   |         |
| 5.聖句朗読   | 高橋 力 メン |
| 6.食前感謝   |         |
| 7. 歓 談   |         |

**EMC/E 切手整理**

8. Happy Birthday! Happy Anniversary!

10/2 青山孝男

9.閉会点鐘 会 長

### <9月例会出席状況>

在 籍 者 5名 ゲスト0名

出 席 者 5名

\*例会出席率 100%

あかべこ 5,000円

20-21年度合計 15,000円

《例会》

毎月第2火曜日 19:00～21:00

若松栄町教会 (☎0242-27-3944)

### まだまだ続きそう…

高橋 真人メン

新型コロナウイルス感染症が収束を見せることなく、その影響はいたるところに生じている。特に個人的には、2000年10月から続けているゴスペルクワイアの活動が何もできなくなっていることが大きい。約20年間、たくさんの仲間たちと毎週練習を重ね、毎年春と秋に定期的に大きなライブを行ってきたのに、今年の3月以降、まともに声を出して一緒に歌うことができなくなっている。



たぶん、歌っても良いのだと思う。今でもお互いの距離を保って換気の良い場所で健康状態に問題がなければ、歌っても良いのだと思う。けれども、罹患しても症状が出ないことが多いという特徴だけに、自己規制を含めてさまざまな制約を予防的にかけてしまうことによって、身動きが取れなくなっているように思う。

3月末に行う予定だったライブは準備を進めていたけれども、本格的な拡大傾向が見えてきて「この状況での集客は難しい」と、月初めに中止を決めた。8月後半までは会津地方での陽性者は出ていなかったけれど、春以降も「ちょっと様子を見よう」と活動を休止した。毎回半年以上も準備を重ねて行う秋

**強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う**

の大きなライブに向けては、十分な練習ができないこと、たくさんの舞台関係の技術スタッフさんにも迷惑がかかることから、早々に開催を断念した。ちょうど20回目の節目となるライブだったのに…。何もなければ今週末(10/17)がそのライブ当日だったのに…。

そして、来年3月もライブ開催は難しいだろうという判断をした。まだまだ続きそう…。(次号は高橋京子ウィメン)

## 理事通信

### 理事メッセージ

東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩)



ようやく秋を感じられるようになりました。

8月14件、9月17件、10月11件。いずれも9月26日時点での区が契約しているZoomアカウントでの会議室の使用・予約状況です。

会員個人所有のアカウントでの諸会議も頻繁に行われています。リモート会議の実践が区内に定着、拡大しつつあることを示しています。

コミュニケーションのあり方が変わってきたことは誰もが認めていることと思います。情報を人が頭の中に入れて電車に乗って会議場まで持ち運んでコミュニケーションを取っていたのが、技術の発達で電車も場所も必要なくなりました。

これはコロナ禍以前から生じていることですが、コロナ禍中でのビデオ会議で私たちが身に染みて感じる場所となりました。因みに「コミュニケーションの意味は辞書では「伝達」となっていますが、語源はラテン語の「Comun」で、その概念は「共有する、分け与える、知らせる」です。様々な工夫をして活動しておられる最近の皆さまの様子をブリテンなどで拝見していますと、コロナにめげずというより、積極果敢に困難、逆風(向かい風)に立ち向かっておられる様子が伝わってきます。

鳥も飛行機も飛び立つのは向かい風。「向かい風で凧(たこ)は最も高くあがる。追い風ではない。

(Kites rise highest against the wind, not with it.)」というウィンストン・チャーチルの言葉が思い出されます。ご報告が遅くなりましたが、8月に富士クラブから、故榎村好夫ワイズのご遺言による100万円の寄付金を東日本区にて拝受致しました。

改めましてお礼申し上げます。詳細は2頁に掲載し

ていますので御覧頂き、医療関係のCS活動の補助などにご活用下さい。

## 足跡

コロナ禍とコミセン (会長 青山孝男)

私がコミュニティセンターの会長に就いてから、3年半となります。



コミュニテ

ィセンターは会津若松市の施設において指定管理者の指定を受け地域において明るく住みよい町づくりを進めるため、その拠点となる施設を運営し、コミュニティ活動を推進することを目的としています。(写真は城南コミュニティセンター)

運営は地域内に活動拠点をおく各種団体によって運営管理をしています。運営費は会津若松市よりの指定管理料と利用者の使用料となっています。会津若松市には九つのコミセンが地域別に設置されており、集会・憩い・教養・スポーツ・レクリエーション等様々な活動で利用しています。

4月からは新型コロナウイルス感染症増加の対応の為4月22日~5月21日の一か月を臨時休館としました。突然の休館で予約されていた皆さまにはご迷惑をかけましたが、ご理解をいただきました。再開にあたり、市サイドより「利用のルール」を作成しチェックと指手消毒はもちろん使用場所の消毒で、感染防止をお願いしています。現在市内の各コミセンからは、コロナウイルス感染症の報告はありません。

「新しい生活様式」で利用者も前年と比べ約30%減少しています。(当コミセン4月~9月)これらから、経費の削減が要求されてきます。サービスを低下することなく利用者(顧客)さんには満足していただけるよう施設の管理をしていかなければなりません。自主事業については役員会で協議しながら小規模ではありますが、継続しているものもあります。早い収束を願いながらの管理運営となりますが、厳しい状況は続きそうです。

### ★今後の予定★

★ 11月例会(ワズ理解) ★

11月10日(火)